

NEWS RELEASE2025年11月11日
西日本旅客鉄道株式会社

国内初 100%次世代バイオディーゼル燃料による 営業列車を岡山エリアにて運行開始

西日本旅客鉄道株式会社は、化石燃料である軽油を燃料として走行しているディーゼル車両の100%次世代バイオディーゼル燃料による運行を岡山エリアで開始します。営業列車におけるディーゼル車両の100%次世代バイオディーゼル燃料による運行は国内初となり、これにより当該列車でのCO₂排出量が「実質ゼロ」となります。

次世代バイオディーゼル燃料導入に向けては、2022年度から2024年度にかけて国土交通省が公募した「鉄道技術開発・普及促進制度 令和4年度新規技術開発課題」(鉄道車両におけるバイオディーゼル燃料の導入に向けた技術開発)として、(公財)鉄道総合技術研究所とJR7社で実証試験を行い、試験結果が良好であったことから、100%次世代バイオディーゼル燃料による営業列車の運行を開始する運びとなりました

JR西日本グループでは、2021年に環境長期目標「JR西日本グループ ゼロカーボン2050」を策定し、2050年にグループ全体のCO₂排出量「実質ゼロ」とすることをめざした取り組みを行っております。本件は、その目標達成に向けた取り組みの一つです。

今後も、環境長期目標達成に向け、様々な取り組みを進めてまいります。

1. 導入規模

約2,100kL/年

※全気動車運転用燃料の約10%相当

2. CO₂排出削減量

年間約5,500t

※一般家庭約2,000世帯分相当

3. 供給開始時期

2025年11月11日

4. その他

本取組についてのシールを導入車両へ貼り付けます



導入車両イメージ



シールイメージ



軽油(左)と次世代バイオ燃料(右)

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に7番、9番、13番、17番に貢献するものと考えています。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

JR西日本グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

